

令和5年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	定期監査				
総合計画 重点施策	—	組織目標	○	担当部	担当課 監査委員事務局

事業目的・概要
<p>予算の執行等の財務に関する事務が、法令等に従って適正に執行されているかを検証する。また、事務事業の目的又は目標数値に沿った実績効果があがっているか、最小の経費で最大の効果をあげているかなど、監査基準に準拠し経済性、効率性、有効性を重視した監査を実施する。現金を取り扱う課においては、現金の保管状況等の確認を行う。</p>

成果指標	単位	R4 (実績)	R5 (実績)	R6 (目標)	R7 (目標)
予算及び運営事務に対する監査を執行した割合	%	100	100	100	100

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
7月 準備調査開始 8月～2月 定期監査を実施 2月～3月 監査結果報告書を作成し、市長等へ提出。次年度の計画案作成	提出された資料により7月5日から準備調査を開始し、8月8日から令和6年2月8日まで、各課の事業が効率的に行われているか、問題点がないか、リスク管理が機能しているか、現金等が適正に保管されているか等を重視し、定期監査(当初のスケジュールどおり24課)を行った。監査委員の合議により、定期監査結果報告書を作成し、3月27日に市長等へ提出、公表した。今年度の監査実施内容の反省点を踏まえ、次年度の監査実施計画を作成した。	A (予定どおり 進んでいる)

今後の方向性	
継続	総合的に見て、適正な監査事務が執行できた。 なお、市の財政状況は依然として厳しい状況であるため、今後も監査基準及び監査実施計画に基づき、適法性・効率性・妥当性を重視した監査を実施する。

事業費(単位:千円)		R4(実績)	R5(実績)	R6(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金				令和4年度、令和5年度は、全国都市監査委員会研修会の中止等により、委員2名の旅費が未執行となり例年より減額となっている。
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	2,352	2,350	2,447	
事業費計(A)		2,352	2,350	2,447	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数	3	3	3	
	業務時間	3,720	3,720	3,720	
	その他職員人件費				
人件費計(B)		11,781	11,874	11,956	
トータルコスト(A+B)		14,133	14,224	14,403	

令和5年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	決算審査				
総合計画 重点施策	—	組織目標	○	担当部	担当課 監査委員事務局

事業目的・概要
<p>一般会計及び特別会計について、決算その他関係諸表の計数の正確性を検証するとともに、予算の執行が適正かつ効率的に行われているかどうかを主眼として審査を実施する。監査基準に準拠し、定期監査、例月出納検査等の結果を踏まえることとし、決算審査意見書を作成する。あわせて、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率並びにその算定の基礎となる事項を記載した書類の審査を実施し、財政健全化判断比率審査意見書を作成する。</p>

成果指標	単位	R4 (実績)	R5 (実績)	R6 (目標)	R7 (目標)
決算書の計数及び予算執行に対する審査を執行した割合	%	100	100	100	100

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<p>6月 各会計決算審査及び健全化判断比率審査について市長から依頼 7月 準備調査開始 8月 決算審査及び財政健全化審査を実施。意見書を作成し、市長に提出</p>	<p>提出された資料により7月5日から準備調査を開始し、8月8日から8月17日まで、関係諸表、各種財政指標、歳入歳出執行状況の計数並びに財産等の状況について、予算の執行実績が合理的かつ効率的であるかを審査(当初のスケジュールどおり、一般会計及び6特別会計を審査)するとともに、8月4日に現地調査を実施した。監査委員の合議により、決算審査意見書及び財政健全化審査意見書を8月24日に市長へ提出した。</p>	<p>A (予定どおり 進んでいる)</p>

今後の方向性	
継続	<p>関係諸表の計数審査については厳正な審査が行われた。今後も監査基準及び監査実施計画に基づき、予算の執行実績が合理的かつ効率的に執行されているか、財政健全化判断比率が適正であるかを重視した審査を実施する。</p>

事業費(単位:千円)	R4(実績)	R5(実績)	R6(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金			令和4年度、令和5年度は、全国都市監査委員会研修会の中止等により、委員2名の旅費が未執行となり例年より減額となっている。
	県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源	定期監査に含む	定期監査に含む	
事業費計(A)	0	0	0	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数	定期監査に含む	定期監査に含む	定期監査に含む
	業務時間			
	その他職員人件費			
人件費計(B)	0	0	0	
トータルコスト(A+B)	0	0	0	

令和5年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	財政援助団体等に関する監査						
総合計画 重点施策	—	組織目標	○	担当部	—	担当課	監査委員事務局

事業目的・概要
<p>毎年度4～5団体を対象に、各団体が出資等の目的に沿って事業を適正かつ効率的に執行しているか、監査基準等の関係法令等に準拠した適切な会計処理がなされているかなどについて、監査を実施する。対象団体は、補助金等交付団体(年額500万円以上)、出資団体(資本金の1/4以上)、貸付団体(年額1,000万円以上)、公の施設の指定管理者とし、2年に1回実施する。</p>

成果指標	単位	R4 (実績)	R5 (実績)	R6 (目標)	R7 (目標)
財政援助団体等に対する監査を実施した割合	%	100	100	100	100

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
4月 4団体に監査実施通知を送付 6月 準備調査を開始 6月～7月 各施設等にて財政援助団体等監査を実施 7月～8月 監査結果報告書を作成し、市長等に報告及び公表 9月 指摘事項があった団体から措置状況の報告を受け、公表	提出された資料により6月1日から準備調査を開始し、6月29日から7月11日まで、前年度の事業が効率的に行われているか、法令に適合しているかを重点的に監査を実施(当初のスケジュールどおり4団体の監査を実施)した。監査委員の合議により、監査結果報告書を8月10日に市長等へ報告、公表した。	A (予定どおり 進んでいる)

今後の方向性	
継続	全体的に見て、適正な監査を行うことができた。 今後も補助金・貸付金及び指定管理に係る出納、その他の事務が関係法令に準拠し適正かつ正確に、各団体において執行されているかを重点的に、監査基準及び監査実施計画に基づき監査を実施する。

事業費(単位:千円)	R4(実績)	R5(実績)	R6(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金			令和4年度、令和5年度は、全国都市監査委員会研修会の中止等により、委員2名の旅費が未執行となり例年より減額となっている。
	県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源	定期監査に含む	定期監査に含む	
事業費計(A)	0	0	0	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数	定期監査に含む	定期監査に含む	定期監査に含む
	業務時間			
	その他職員人件費			
人件費計(B)	0	0	0	
トータルコスト(A+B)	0	0	0	